

IC乗車券の相互利用に関する国際ワーキンググループの 第一回会合の結果について

(平成20年5月20日大阪市で開催)

開催の趣旨

アジア共通IC乗車券について意欲を示している日本、韓国、香港、シンガポール等のIC乗車券事業者等による民間主体のワーキンググループの第一回会合であり、今後も会合を開いて、具体的なIC乗車券の技術開発及び実験について専門的な協議を行っていくこととする。

今回の国際ワーキンググループでの了解事項

【規格の異なるアジアの複数の都市の改札機に対応できるマルチIC乗車券の開発・実験の開始】

・最近アジア各都市で導入されているIC乗車券の通信・データ規格と、日本のIC乗車券の通信・データ規格の双方に対応できるマルチIC乗車券の開発・実験を開始する。

アジアにおける交通系ICカードの導入状況（参考）

日中韓の観光交流・協力の促進に関する青島宣言(抄)

第二回日中韓観光大臣会合(平成19年6月26日採択)

3国が観光面での情報化に力を入れ、**交通**、**宿泊**、**飲食**等の消費段階をカバーできる**旅行者の利便性**を高めるシステムを徐々に構築していくことを提唱

第5回日ASEAN交通大臣会合

(平成19年11月2日 於 シンガポール)

アジア共通IC乗車券導入プロジェクトに関し、日ASEANが**2008年の実証実験**に向けて連携していくこととされた



ICカードタイプ:
タイプA

ICカードタイプ:
FeliCa

ソウル及びシンガポールについては、一部タイプBも導入されている。